

1 交通街づくりの目的・概要

2 検討プロセス

- ・これまでの取り組み
- ・これからの取り組み

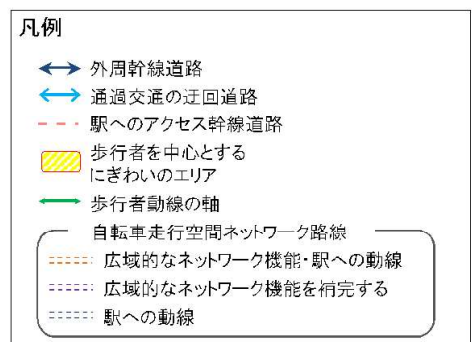
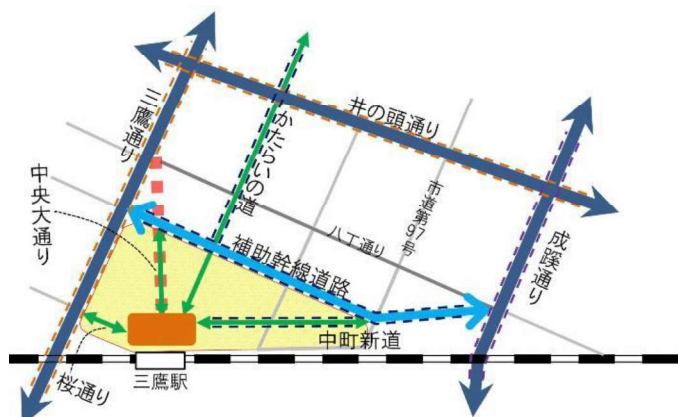
(今後の進め方、ワークショップの位置付け等)

1

交通街づくりの目的・概要

“自動車中心”から“歩行者中心”の駅周辺へ

- ✓ 街づくりビジョンに掲げる「住む人、働く人が集い、心地よく過ごす街」の実現に向けた取り組みを進めています。
- ✓ 現在整備を進める補助幹線道路が完成すると地域の交通環境が大きく変化します。
- ✓ これを契機に、通過交通の流入などの問題を解決し、“自動車中心”から“歩行者中心”の空間への再整備（=ウォーカブルな街づくり）を目指していきます。

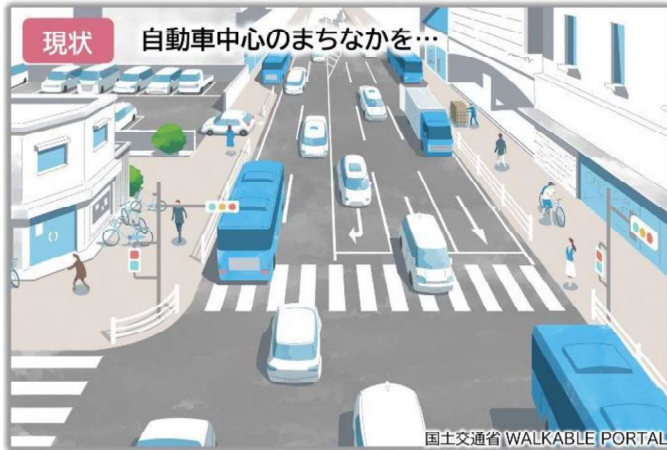


2

交通街づくりの目的・概要

“ウォーカブル”な街づくりとは？

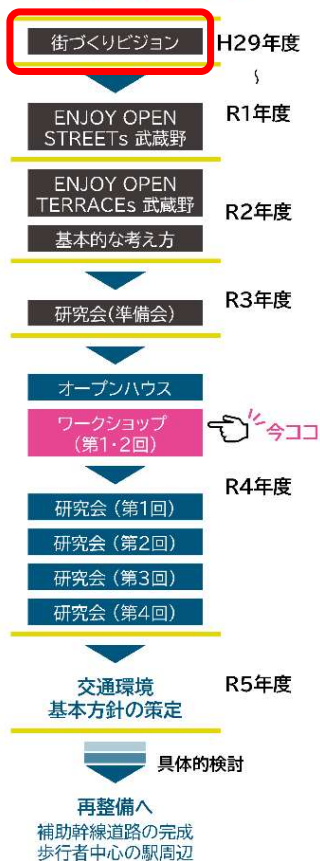
- ✓ “自動車中心”から“歩行者中心”の空間に変えることで、多様な人々が集い、交流する「居心地が良く歩きたくなる」街にすること。
- ✓ 将来にわたり活力を維持する持続可能な街づくりにつながります。



3

検討プロセス(これまでの取り組み)

検討プロセス



■三鷹駅北口街づくりビジョン



- ✓ 補助幹線道路の整備により、交通環境が大きな変化を迎える概ね10年後の目指すべき街の姿を描きました。

住む人、働く人が集い、心地よく過ごす街

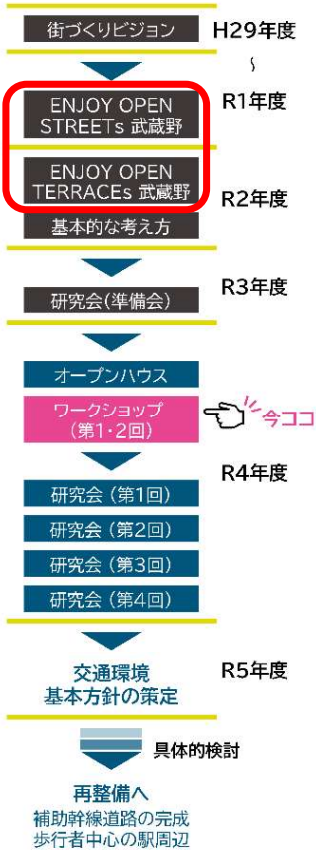
～住む人、働く人が共に過ごす街として、
将来にわたって活力を維持する持続可能な街を目指す～

- ✓ 交通環境、土地利用、緑・にぎわいの3つの視点で実現に向けた取り組みを定めました。

4

検討プロセス(これまでの取り組み)

検討プロセス



■ 道路を活用した社会実験

✓ ENJOY OPEN STREETSs 武蔵野

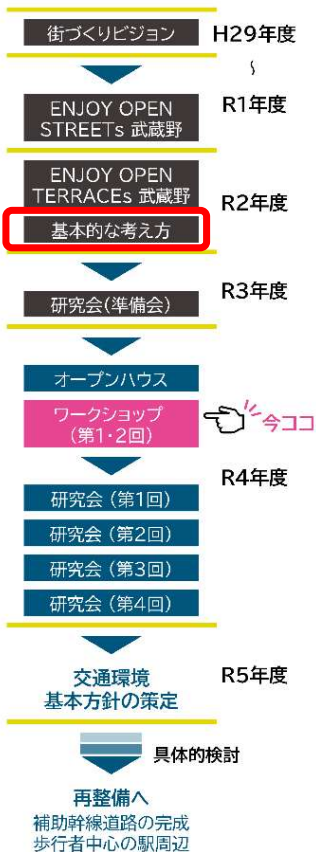


✓ ENJOY OPEN TERRACEs 武蔵野



検討プロセス(これまでの取り組み)

検討プロセス



■ 交通環境基本方針の策定に向けた考え方

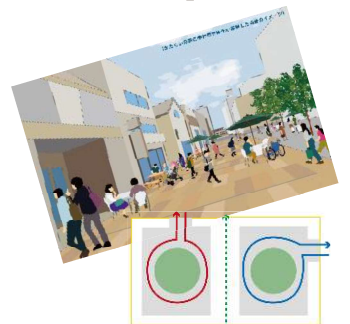
✓ 地域の方々と課題を共有し、解決に向けた方針について意見交換していくためのたたき台



✓ 目標時期は概ね2030年代 (10~20年後)

✓ ポイントとなる4つの考え方

- ① 交通体系の再編
- ② 駅前広場の2ロータリー化
- ③ 駅前広場の拡張
- ④ 沿道の街並み誘導と低利用地のまちづくり



検討プロセス(これからの取り組み)

検討プロセス



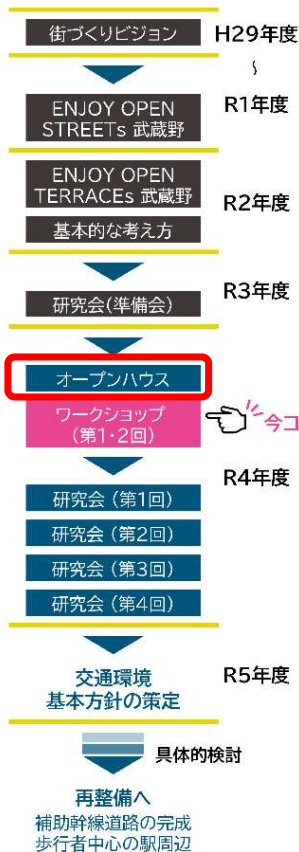
■今後の進め方

- ✓ 基本的な考え方をたたき台に検討を進めていきます
- ✓ 広く意見を聴く場として「オープンハウス」「ワークショップ」を開催します
- ✓ 関係団体の意見を聴く場として「研究会」を開催します
- ✓ 上記の意見を踏まえ、令和5年度に市で交通環境基本方針を策定する予定です
- ✓ 方針に基づき、再整備に向けた具体的検討を行います

7

検討プロセス(これからの取り組み)

検討プロセス



■オープンハウス(5/28開催)

- ✓ パネルを用いて取り組み状況等の情報発信や意見収集を行いました(来場者数約340人)
- ✓ ウォーカブルな街づくりに期待する声が多く寄せられました



8

検討プロセス(これからの取り組み)

検討プロセス



■ワークショップ^o (6/4・6/25開催)

本日

- ✓ 2日間を通したプログラム
1日目「三鷹駅北口にふさわしい交通街づくり」
2日目「実現化に向けた考え方」
- ✓ 基本的な考え方は行政の視点で整理したものです。より良い街づくりに向けて、住民やワーカー、学生など多様な視点から率直な意見交換をお願いします
- ✓ ワークショップの成果は、ニュースレター等により、広く情報発信していきます